

第68回村上市岩船郡PTA協議会研究大会 山北大会 — 家庭と学校と社会で教育を考える —

🌸 子どもたちを守るためには、大人自身の援助要請も必要



令和4年11月13日(日)、PTAと家庭、地域、学校が連携・協働し、子どもたちの健全育成を目指すことを目的とした研究大会を開催しました。

同研究大会は、上越教育大学いじめ・生徒指導研究センターが文部科学省からの委託を受け、村上市教育委員会と共同で実施している「令和4年度いじめ対策・不登校支援等推進事業」の一環として、村上市岩船郡PTA協議会と連携して実施し、いじめ問題の現状や予防対策について議論するとともに学校を取り巻く諸問題について参加者と意見交換を行いました。

本学教授でいじめ・生徒指導研究センター長を務める高橋知己が基調講演を行い「いじめ・生徒指導問題の対応には、早期発見と未然防止が欠かせない」と説明し、いじめの発見が困難である様々な要因を紹介した上で、「学校・担任だけで対応した場合、いじめを見逃すリスクがある」とし、子どもたちを守るためには「大人が早期発見すること、子どもたちが援助要請しやすい環境をつくること、大人自身が周囲に対して援助要請をすることが重要であり、そのためには家庭と学校がチームとなり、対応を考えていく必要がある」と指摘しました。

日時／令和4年11月13日(日) 9:15~12:40
開催形態／ハイブリッド方式
対面：村上市教育情報センター、村上市生涯学習推進センター
オンライン：Zoom
主催／村上市岩船郡PTA協議会
主管／山北地区PTA連絡協議会
後援／村上市教育委員会、関川村教育委員会、粟島浦村教育委員会、上越教育大学いじめ・生徒指導研究センター
講演／高橋 知己
上越教育大学大学院学校教育研究科教授
いじめ・生徒指導研究センター長

🌸 家庭、学校、地域社会の連携を密にし、子どもの「生きる力」を育む



基調講演終了後は、3つの分科会に分かれワークショップ形式で保護者、学校教員、教育委員会関係者、本学関係者などによる活発な討論が行われました。

子どもたちのために何ができるのか、日頃感じている思いや悩みも語られました。

最後に各分科会の内容を高橋知己センター長が取りまとめ、全体で共有しました。

各分科会のテーマは、以下のとおりです。

第1分科会：「親と子のかかわりかた」

親子の関係性や子どもとの関わり方の工夫
どうしたら子どもが親に相談できる環境をつくれるか
一緒に遊びながら子どもたちから親が学ぶ

コーディネーター／寺戸 武志
上越教育大学大学院学校教育研究科講師



第2分科会：「発達のでこぼこを考える」

まわりがどう関わりどうケアしていくのか
苦手分野は生きづらさに繋がるのか
特別支援学級についての理解

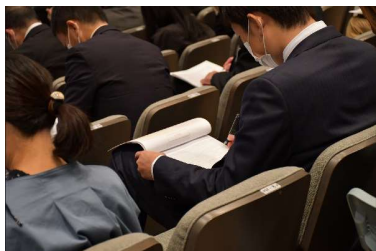
コーディネーター／峰須賀 洋一
上越教育大学大学院学校教育研究科准教授



第3分科会：「PTAのあり様を考える」

各校の役員決めの方法とは
PTAは保護者にとって負担になるのか
学校・PTAに父親はどう関わるか

コーディネーター／辻村 貴洋
上越教育大学大学院学校教育研究科准教授



講演のなかでは「いじめが発見しにくい理由」について、参加者によるグループ討議の時間が設けられ、熱心な意見交換が行われました。

「かけがえのない存在」であることを子どもたちにも、自分たちにも伝えていく。
そこからいじめ予防は始まります。
チームとして、家庭と学校で考えていきませんか。

【担当】

国立大学法人上越教育大学
いじめ・生徒指導研究センター
(事務：研究連携課)
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地
E-mail : j-rbgc@juen.ac.jp FAX : 025-521-3621

